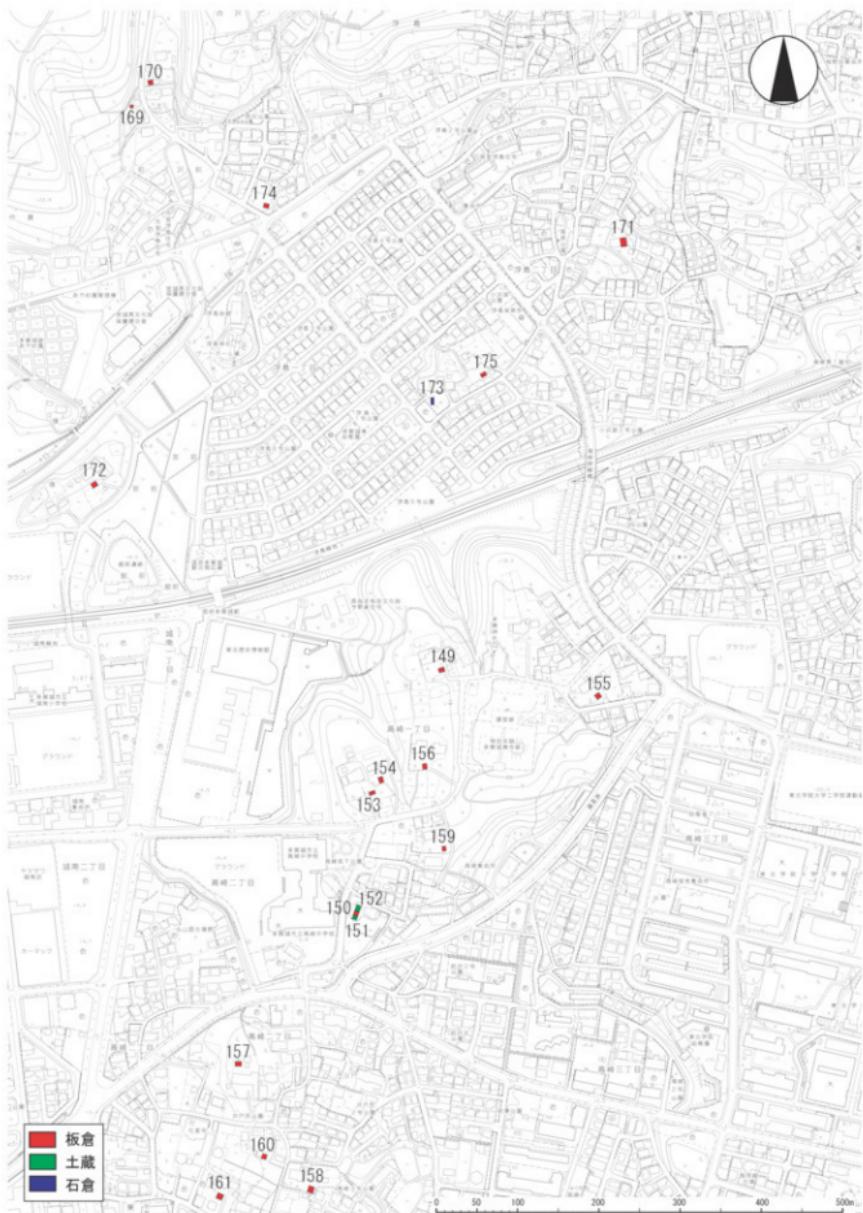
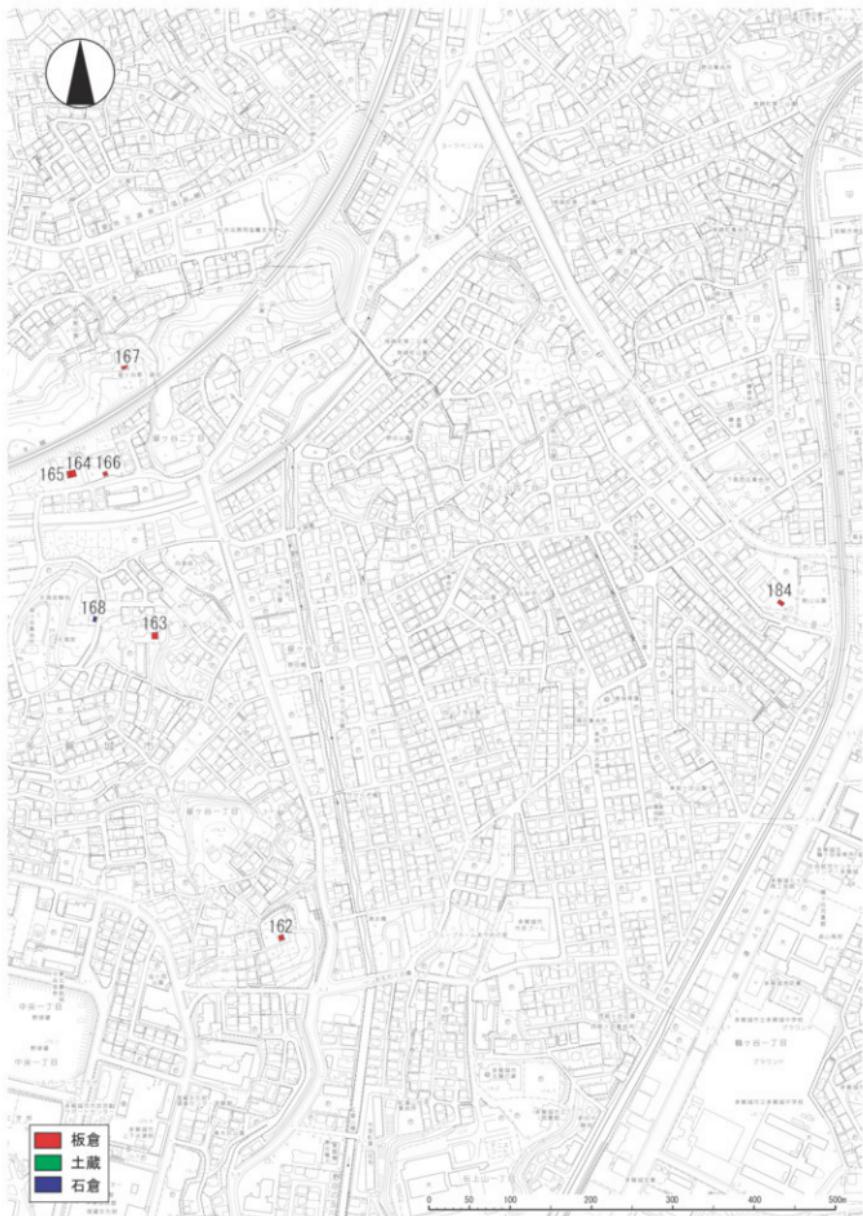




第8図 地区別板倉・土蔵・石倉分布図（笠神・下馬地区）



第9図 地区别板倉・土蔵・石倉分布図（高崎・浮島地区）



第10図 地区別板倉・土蔵・石倉分布図（留ヶ谷・伝上山地区）

表2 多賀城市内倉台帳

(網掛けは実測調査未実施)

台帳番号	査名称	住所	査の種類	年代	実測調査	査行各規格 (m)	査行各規格 (m)	柱の幅(cm)	柱間隔(cm)	位置図	報告書掲載ページ
1	八幡地区A家住宅住宅石倉	八幡2丁目	石倉	昭和35年頃		4.22	3.3	—	—	第3回	
2	八幡地区A家住宅住宅石倉	八幡3丁目	石倉	昭和初期		5.67	3.89	—	—	第3回	
3	八幡地区A家住宅住宅石倉	八幡4丁目	石倉	昭和初期		3.4	2.52	—	—	第3回	
4	八幡地区B家住宅住宅板倉	八幡3丁目	板倉	江戸時代後期	○	5.54	3.77	13.5	23	第3回	32
5	八幡地区C家住宅住宅土蔵	八幡4丁目	土蔵	—	○	4.91	3.38	—	—	第3回	142
6	八幡地区D家住宅住宅板倉	八幡3丁目	板倉	—	○	4.78	3.15	10~11	33~37	第3回	36
7	八幡地区E家住宅住宅石倉	八幡2丁目	石倉	50年以上		6.23	4.61	—	—	第3回	
8	八幡地区F家住宅住宅板倉	八幡2丁目	板倉	明治元年		4.89	3.78	12~14	31~33	第3回	
9	八幡地区G家住宅住宅土蔵	—	土蔵	明治元年		4.09	3.39	—	—	第3回	
10	八幡地区H家住宅住宅石倉	八幡3丁目	石倉	昭和27~28年頃		3.87	3.87	—	—	第3回	
11	八幡地区I家住宅住宅板倉	八幡3丁目	板倉	昭和63年		4.75	3.8	10	35~38	第3回	
12	八幡地区J家住宅石倉	八幡3丁目	石倉	昭和25~36年		5.92	4.1	—	—	第3回	
13	八幡地区K家住宅板倉	八幡3丁目	板倉	昭和35年		4.78	2.96	12	33	第3回	
14	八幡地区L家住宅石倉	八幡3丁目	石倉	昭和37年		4.87	4.6	—	—	第3回	
15	八幡地区M家住宅石倉	八幡3丁目	石倉	平成		3.86	4.78	—	—	第3回	
16	八幡地区N家住宅石倉	八幡3丁目	石倉	—		5.9	4.1	—	—	第3回	
17	八幡地区O家住宅石倉	八幡3丁目	石倉	昭和20年代		3.81	3.68	—	—	第3回	
18	八幡地区P家住宅石倉	八幡2丁目	石倉	昭和27年	○	5.99	4.22	—	—	第3回	152
19	八幡地区Q家住宅板倉	八幡3丁目	板倉	—		3.76	5.12	11~13	47~56	第3回	
20	八幡地区R家住宅石倉	八幡2丁目	石倉	大正		6.6	4.23	—	—	第3回	
21	八幡地区S家住宅板倉	八幡2丁目	板倉	大正		3.3	4.6	15	32	第3回	
22	八幡地区T家住宅板倉	八幡2丁目	板倉	—	○	5.53	3.71	11~12	74~78	第3回	106
23	八幡地区U家住宅石倉	八幡2丁目	石倉	昭和11年		5.81	3.78	—	—	第3回	
24	八幡地区V家住宅板倉	八幡2丁目	板倉	—		5.58	3.8	13~14	16~17	第3回	
25	八幡地区W家住宅板倉	八幡2丁目	板倉	100年以上		6.45	4.72	14~16	30~32	第3回	
26	八幡地区X家住宅石倉	八幡2丁目	石倉	—	○	3.86	2.97	—	—	第3回	154
27	八幡地区Y家住宅板倉	八幡2丁目	板倉	昭和11年4月	○	3.73	2.84	9~10	51~52	第3回	104
28	八幡地区Z家住宅板倉	八幡2丁目	板倉	大正7年頃	○	5.15	3.78	13	32	第3回	88
29	八幡地区AA家住宅板倉	八幡3丁目	板倉	—	○	5.58	3.76	12~13	23~25	第3回	110
30	八幡地区BB家住宅土蔵	八幡3丁目	土蔵	—	○	5.15	4.07	—	—	第3回	128
31	八幡地区CC家住宅石倉	八幡3丁目	石倉	50年位?		6.03	4.22	—	—	第3回	
32	八幡地区DD家住宅板倉	八幡3丁目	板倉	70年以上	○(造造)	4.66	3.16	11~12	18~20	第3回	108
33	八幡地区EE家住宅板倉	八幡2丁目	板倉	江戸時代後期	○	4.67	3.78	13	32	第3回	34

台帳番号	査名称	住所	査の種類	年代	実測調査	析行き規様 (m)	渠行き規様 (m)	柱の幅(cm)	柱間隔(cm)	位置図	報告書掲載ページ
34	八幡地区W家住宅板倉	八幡2丁目	板倉	昭和40年7月	○	3.75	3.29	11.5	28~35	第3図	102
35	八幡地区W家住宅板倉	八幡3丁目	板倉	明治		7.73	4.93	11~12	52~53	第3図	
36	八幡地区W家住宅板倉	八幡3丁目	板倉							第3図	
37	南宮地区A家住宅土蔵	南宮字町	土蔵	明治	○	5.7	3.38	—	—	第4図	134
38	南宮地区A家住宅板倉	南宮字町	板倉	明治	○	5.63	3.76	13	17	第4図	50
39	南宮地区I家住宅板倉	南宮字町	板倉	明治		4.65	3.22	12~15	31~32	第4図	
40	南宮地区I家住宅板倉	南宮字町	板倉	—	○	5.62	3.79	13~15	16~18	第4図	76
41	南宮地区I家住宅板倉	南宮字町	板倉	—	○	5.6	3.79	13	30~32	第4図	40
42	南宮地区II家住宅板倉	南宮字町	板倉	明治		5.6	3.46	改造	改造	第4図	
43	南宮地区II家住宅板倉	南宮字町	板倉	明治	○	5.6	3.46	13.5	16.5	第4図	52
44	南宮地区II家住宅板倉	南宮字町	板倉	明治末	○	5.6	3.78	12	16.5~20	第4図	46
45	南宮地区II家住宅土蔵	—	土蔵	明治		5.95	4.17	—	—	第4図	
46	南宮地区U家住宅板倉	南宮字町	板倉	70年以上		4.6	3.14	10	27	第4図	
47	南宮地区U家住宅石倉	南宮字町	石倉	昭和40年代		3.49	4.34	—	—	第4図	
48	南宮地区U家住宅板倉	南宮字町	板倉	—		4.99	3.16	11~13	17~22	第4図	
49	南宮地区O家住宅石倉	南宮字町	石倉	昭和50年以前		4.18	3.28	—	—	第4図	
50	南宮地区O家住宅土蔵	南宮字庚申	土蔵	昭和3年頃		4.65	3.85	—	—	第4図	
51	南宮地区O家住宅板倉	南宮字町	板倉	大正	○	5.6	3.8	12~15	14~18	第4図	90
52	南宮地区O家住宅石倉	南宮字町	石倉	明治26年		7.46	4.72	内部柱幅14 ~15	46	第4図	
53	南宮地区O家住宅板倉	南宮字町	板倉	100年以上	○	5.62	3.81	13~16	15~17	第4図	84
54	南宮地区O家住宅土蔵	南宮字町	土蔵	—	○	3.9	3	—	—	第4図	144
55	南宮地区K家住宅土蔵	南宮字町	土蔵	—		5.33	3.48	—	—	第4図	
56	南宮地区K家住宅板倉	南宮字町	板倉	—	○	5.58	3.38	13	17	第4図	94
57	南宮地区G家住宅板倉	南宮字町	板倉	明治	○	5.23	3.81	12~14	11~14	第4図	54
58	南宮地区G家住宅板倉	南宮字町	板倉	—		5.63	3.75	9~11	20.5~22	第4図	
59	南宮地区G家住宅土蔵	南宮字町	土蔵	明治8年	○	5.66	4.3	—	—	第4図	132
60	南宮地区G家住宅土蔵	—	土蔵	江戸 (寛永5年)	○	5.9	4.43	—	—	第4図	126
61	南宮地区S家住宅板倉	南宮字町	板倉	明治	○	5.59	3.8	11~13	24~25	第4図	56
62	南宮地区S家住宅石倉	南宮字町	石倉	—		4.78	3.88	—	—	第4図	
63	南宮地区S家住宅石倉	南宮字町	石倉	昭和10年代		7.88	3.33	—	—	第4図	
64	南宮地区S家住宅板倉	南宮字町	板倉	昭和23年	○	5.58	3.82	12	18	第4図	120
65	南宮地区S家住宅板倉	南宮字町	板倉	—	○	5.59	3.75	12~13	17~18	第4図	96
66	南宮地区S家住宅板倉	南宮字町	板倉	100年位		5.58	3.82	17	33or18	第4図	

台帳番号	査名称	住所	査の種類	年代	実測調査	航行き規様 (m)	渠行き規様 (m)	柱の幅(cm)	柱間隔(cm)	位置図	報告書用紙ページ
67	南宮地区S家住宅板倉	南宮字町	板倉	明治	○	5.59	3.76	10.5	22.5	第4図	72
68	南宮地区S家住宅板倉	南宮字町	板倉	明治	○	3.16	3.76	13	17	第4図	74
69	南宮地区T家住宅板倉	南宮字町	板倉	明治	○	4.66	3.18	11.5～13.5	18～19	第4図	58
70	南宮地区T家住宅板倉	南宮字町	板倉	50年以上		5.46	3.79	10～12	30	第4図	
71	南宮地区T家住宅板倉	南宮字町	板倉	昭和46年	○	5.61	3.81	14～16	16	第4図	124
72	南宮地区T家住宅板倉	南宮字町	板倉	—	○	5.63	3.81	11～12	18～19	第4図	116
73	南宮地区T家住宅板倉	南宮字町	板倉	明治	○	5.575	3.75	11～15	10～18	第4図	60
74	南宮地区T家住宅板倉	南宮字町	板倉	—		5.53	3.6	13	32	第4図	
75	南宮地区H家住宅板倉	南宮字上南宮	板倉	昭和32年頃		4.65	2.85	10～12	正面18～19 その他35～38	第4図	
76	山王地区A家住宅板倉	山王字東町浦	板倉	江戸(文久4年)	○	5.59	3.89	15	15	第4図	30
77	山王地区A家住宅板倉	山王字東谷地中	板倉	100年位		5.61	3.8	11	34	第4図	
78	山王地区A家住宅板倉	山王字東谷地中	板倉	100年位		3.14	2.25	11	41	第4図	
79	山王地区A家住宅板倉	山王字前田	板倉	明治		6.5	4.65	13～15	17～18	第4図	
80	山王地区A家住宅板倉	山王字中山王	板倉	明治17年		4.95	3.5	11～14	29～34	第4図	
81	山王地区A家住宅板倉	山王字東町浦	板倉	昭和初期		5.62	3.79	12	33	第4図	
82	山王地区A家住宅板倉	山王字東町浦	板倉	—		3.74	2.83	10	37	第4図	
83	山王地区A家住宅板倉	山王字東町浦	板倉	昭和5年		5.85	4.86	12～14	35	第4図	
84	山王地区A家住宅板倉	山王字東町浦	板倉	“		3.75	2.85	10	36	第4図	
85	山王地区A家住宅板倉	山王字中山王	板倉	—		5.75	3.8	12～14	28～29	第4図	
86	山王地区T家住宅板倉	山王字東町浦	板倉	明治	○	5.15	3.8	13	30.5	第4図	62
87	山王地区K家住宅板倉	山王字西町浦	板倉	100年以上		5.59	3.7	12	19	第4図	
88	山王地区K家住宅板倉	山王字中山王	板倉	大正	○	4.58	3.31	12.5～14.5	18～20	第4図	92
89	山王地区G家住宅板倉	山王字干利田	板倉	100年近い		5.66	3.75	9	19	第4図	
90	山王地区T家住宅石倉	山王字毛上	石倉	昭和34年		5.24	3.85	—	—	第4図	
91	市川地区K家住宅板倉	市川字丸山	板倉	昭和20年頃		5.7	3.7	9	50～60	第5図	
92	市川地区K家住宅土蔵	市川字丸山	土蔵	明治	○	4.98	4.23	—	—	第5図	136
93	市川地区K家住宅土蔵	市川字丸山	土蔵	明治	○	4.48	3.27	—	—	第5図	138
94	市川地区K家住宅土蔵	市川字城前	土蔵	明治	○	6.78	4.07	—	—	第5図	140
95	市川地区K家住宅板倉	市川字城前	板倉	明治	○	5.59	3.77	12～14	17～18	第5図	70
96	市川地区K家住宅板倉	市川字五万崎	板倉	4代前位	○	5.65	3.79	13	33	第5図	98
97	市川地区K家住宅板倉	市川字五万崎	板倉	4代前位	○	4.64	2.38	10.5	34	第5図	38
98	市川地区K家住宅板倉	市川字塙下	板倉	江戸(文久3年)	○	4.685	3.17	12～14	25～32	第5図	26
99	市川地区K家住宅石倉	市川字五万崎	石倉	昭和	○	5.69	3.94	—	—	第5図	148

台帳番号	査名称	住所	査の種類	年代	実測調査	軒行き規格 (m)	梁行き規格 (m)	柱の幅(cm)	柱間隔(cm)	位置図	報告書掲載ページ
100	市川地区K家住宅土蔵	市川字五万崎	土蔵	明治(頃)		5.6	3.9	—	—	第5図	
101	市川地区K家住宅板倉	市川字五万崎	板倉	不明		4.66	3.16	11	50	第5図	
102	市川地区K家住宅板倉	市川字坂下	板倉	明治	○	5.58	4.54	15~18	22	第5図	65
103	市川地区K家住宅板倉	市川字坂下	板倉	明治	○	5.58	3.81	15~18	30	第5図	64
104	市川地区G家住宅板倉	市川字春社	板倉	—		5.6	3.95	11~15	18~20	第5図	
105	市川地区G家住宅板倉	市川字春社	板倉	—		4.67	3.33	12~13	33	第5図	
106	市川地区S家住宅板倉	市川字大堀	板倉	—	○	5.6	4.25	12~14	31~33	第5図	118
107	市川地区S家住宅土蔵	市川字大堀	土蔵	—		7.78	4.45	—	—	第5図	
108	市川地区S家住宅石倉	赤川字作賀	石倉	昭和17年	○	5.52	4.2	—	—	第5図	150
109	市川地区S家住宅板倉	赤川字春社	板倉	—	○	4.72	2.97	13	12~13	第5図	80
110	市川地区S家住宅板倉	赤川字春社	板倉	—	○	3.75	2.98	11	12	第5図	82
111	市川地区S家住宅土蔵	赤川字丸山	土蔵	大正4年		4.9	4.12	—	—	第5図	
112	市川地区S家住宅板倉	赤川字丸山	板倉	昭和23年	○	3.77	3.15	10~12	20~30	第5図	122
113	市川地区S家住宅板倉	赤川字伊保石	板倉	不明		4.7	3.3	11~12	30~40	第5図	
114	市川地区S家住宅板倉	赤川字五万崎	板倉	大正		5.53	3.79	13~14	15~19	第5図	
115	市川地区S家住宅板倉	赤川字大堀	板倉	不明	○	5.8	4.7	14	19~20	第5図	112
116	市川地区S家住宅板倉	赤川字春社	板倉	不明	○	5.13	3.33	12~13	32~34	第5図	114
117	市川地区S家住宅板倉	赤川字春社	板倉	不明		3.1	2.1	10~12	23~24(南 妻39)	第5図	
118	市川地区S家住宅板倉	赤川字坂下	板倉	—	○	5.64	3.83	12	34	第5図	78
119	市川地区S家住宅板倉	赤川字立石	板倉	江戸 (天保6年)	○	4.77	3.77	13~14	31~33	第5図	22
120	市川地区T家住宅板倉	赤川字城前	板倉	江戸		5.58	3.77	11~14	32~33	第5図	
121	市川地区Y家住宅板倉	赤川字五万崎	板倉	明治22年	○	6.5	4.71	16	29~30	第5図	42
122	市川地区Y家住宅土蔵	赤川字五万崎	土蔵	明治元年?	○	4.85	3.32	—	—	第5図	130
123	市川地区K家住宅板倉	赤川字金原	板倉	安政6年	○	4.54	3.02	11~13	32~33	第5図	28
124	新田地区I家住宅板倉	新田字六歳	板倉	昭和23年		5.61	3.79	11~15	20.5~25	第6図	
125	新田地区E家住宅板倉	新田字北関合	板倉	明治	○	5.62	3.81	13~14.5	31~34	第6図	68
126	新田地区E家住宅板倉	新田字北関合	板倉	不明		4.7	3.3	13.5~16	23.5~33	第6図	
127	新田地区E家住宅土蔵	新田字北関合	土蔵	不明	○(貢一)	6.66	4.4	—	—	第6図	146
128	新田地区E家住宅石倉	新田字北関合	石倉	不明		9.5	4.04	—	—	第6図	
129	新田地区E家住宅板倉	新田字南開合	板倉	江戸 (弘化4年 以前)	○	5.83	3.81	12~13.5	32~50	第6図	24
130	新田地区E家住宅板倉	新田字北関合	板倉	明治14年		5.47	4.03	13~14	22.5~26	第6図	
131	新田地区S家住宅板倉	新田字南安楽寺	板倉	江戸		5.59	3.3	13	32	第6図	
132	新田地区S家住宅板倉	新田字西後	板倉	昭和22~33 年		4.68	3.16	11.5~13	25~26.5	第6図	

台番号	直名称	住所	棟の種類	年代	実測調査	桁行き幅(ｍ)	梁行き幅(ｍ)	柱の幅(cm)	柱間隔(cm)	位置図	報告書掲載ページ
133	新田地区S家住宅板倉	新田字南安楽寺	板倉	昭和		4.67	3.8	11～12	35	第6図	
134	新田地区S家住宅板倉	新田字六處	板倉	昭和		6.52	4.7	11～15	23～27	第6図	
135	新田地区S家住宅板倉	新田字西後	板倉	昭和		3.74	3.12	11	18.5～19.5	第6図	
136	新田地区S家住宅板倉	新田字南安楽寺	板倉	明治3年		3.8	2.88	13～15.5	9	第6図	
137	新田地区F家住宅板倉	新田字南安楽寺	板倉	昭和		3.75	2.32	10～11	33.5～41	第6図	
138	新田地区F家住宅板倉	新田字設	板倉	江戸		5.63	3.8	15～17	31	第6図	
139	新田地区F家住宅板倉	新田字熊ノ田	板倉	昭和26年		5.62	3.8	14	20～24	第6図	
140	新田地区Y家住宅板倉	新田字北開合	板倉	明治？		4.68	3.16	10.5	35	第6図	
141	新田地区W家住宅板倉	新田字開合	板倉	—		4.98	3.45	16.5	32	第6図	
142	高橋地区K家板倉	高橋5丁目	板倉	明治25年	○	5.62	3.8	13～14.5	31.5～33	第7図	44
143	高橋地区K家板倉	高橋5丁目	板倉	明治9年 子年(1873年3月1日)		4.73	3.9	12～13	32.5～33.5	第7図	
144	高橋地区S5板倉	高橋1丁目	板倉	明治初め		5.6	3.8	12	35	第7図	
145	高橋地区S家住宅石倉	高橋2丁目	石倉	昭和36～37年		4.9	3.92	—	—	第7図	
146	高橋地区S家住宅石倉	高橋1丁目	板倉	明治32年		5.6	3.78	14	30.5～32.5	第7図	
147	高橋地区S家住宅石倉	高橋2丁目	石倉	昭和37～38年		5.98	4.2	—	—	第7図	
148	高橋地区S家住宅石倉	高橋2丁目	石倉	不明		5.69	3.89	—	—	第7図	
149	高崎地区A家住宅板倉	高崎1丁目	板倉	不明		5.58	3.74	10～13	33～35	第9図	
150	高崎地区I家住宅板倉	高崎2丁目	板倉	明治～大正		6.23	3.79	13～14	21～23.5	第9図	
151	高崎地区I家住宅土蔵	高崎2丁目	土蔵	明治		5.83	3.79	—	—	第9図	
152	高崎地区I家住宅土蔵	高崎2丁目	土蔵	不明		3.86	3.34	—	—	第9図	
153	高崎地区S家住宅板倉	高崎1丁目	板倉	昭和40年 ○(和夫)		5.54	3.78	13.5～16	14～18	第9図	100
154	高崎地区S家住宅板倉	高崎1丁目	板倉	明治以前 ○(和夫)		5.6	3.8	13～16	14～17	第9図	48
155	高崎地区S家住宅板倉	高崎1丁目	板倉	大正14年		5.63	4.69	11～15	32.5～34.5	第9図	
156	高崎地区S家住宅板倉	高崎1丁目	板倉	不明		5.62	3.78	13～15	21～24	第9図	
157	高崎地区S家住宅板倉	高崎2丁目	板倉	明治元年		5.65	3.87	15	15.5～17	第9図	
158	高崎地区S家住宅板倉	高崎2丁目	板倉	明治		5.41	3.71	14	16.5～20	第9図	
159	高崎地区S家住宅板倉	高崎2丁目	板倉	明治		4.3	3.05	10～11	23.5～29	第9図	
160	高崎地区T家住宅板倉	高崎2丁目	板倉	100年以上		5.52	3.68	14	20～21	第9図	
161	高崎地区T家住宅板倉	高崎2丁目	板倉	100年位	○	5.38	3.76	12～15	17.5～19	第9図	86
162	留ヶ谷地区K家住宅板倉	留ヶ谷1丁目	板倉	大正5年		5.59	4.13	11～11.5	18.5～21.5	第10図	
163	留ヶ谷地区S家住宅板倉	留ヶ谷1丁目	板倉	明治40年		5.59	3.8	13～14	32～32.5	第10図	
164	留ヶ谷地区S家住宅板倉	留ヶ谷2丁目	板倉	明治		5.6	3.8	12～14	31～33.5	第10図	
165	留ヶ谷地区S家住宅板倉	留ヶ谷2丁目	板倉	不明		5.625	3.78	10～11	20～20.5	第10図	

台帳番号	査定名称	住所	査定種類	年代	実測調査	査定高(㎡)	査定高(㎡)	柱の幅(cm)	柱間隔(cm)	位置図	報告書掲載ページ
166	御ヶ谷地区S家住宅板倉	御ヶ谷2丁目	板倉	明治		4.86	3.18	12~13.5	36~39.5	第10図	
167	御ヶ谷地区S家住宅板倉	御ヶ谷2丁目	板倉	—		4.68	3.14	8~10	26.5~30.5	第10図	
168	御ヶ谷地区S家住宅石倉	御ヶ谷1丁目	石倉							第10図	
169	浮島地区K家住宅板倉	浮島字沢前	板倉	50年以上		3.32	2.41	12	11~18	第9図	
170	浮島地区K家住宅板倉	浮島字西沢	板倉	不明		4.8	3.1	11~13	13.5~26	第9図	
171	浮島地区K家住宅板倉	浮島2丁目	板倉	大正		5.86	3.02	10.5	35~41	第9図	
172	浮島地区K家住宅板倉	浮島字後山	板倉	明治		5.65	3.78	12~14	22~24	第9図	
173	浮島地区H家住宅石倉	浮島2丁目	石倉	昭和46年	○	5.2	4.28	—	—	第9図	156
174	浮島地区H家住宅板倉	浮島字西沢	板倉	—		5.6	3.79	14~15	13.5~18	第9図	
175	浮島地区H家住宅板倉	浮島2丁目	板倉	明治		5.65	2.85	12	33.5~35.5	第9図	
176	東田中地区I家住宅板倉	東田中1丁目	板倉	昭和20年~27年頃		5.35	3.79	12	17~21	第3図	
177	東田中地区I家住宅板倉	東田中1丁目	板倉	不明		5.58	3.77	12	18~20	第3図	
178	東田中地区II住宅土蔵	東田中2丁目	土蔵	100年超えている		6.38	3.9	—	—	第3図	
179	東田中地区O家住宅板倉	東田中2丁目	板倉	江戸(弘化2年)		5.79	3.85	12	33~77	第3図	
180	東田中地区O家住宅石倉	東田中1丁目	石倉	昭和50年頃		5.73	3.96	—	—	第3図	
181	下馬地区I家住宅土蔵	下馬5丁目	土蔵	不明		6.55	3.86	—	—	第8図	
182	下馬地区I家住宅板倉	下馬3丁目	板倉	明治		6.5	3.8	13~14	16	第8図	
183	下馬地区H家住宅板倉	下馬4丁目	板倉	不明		6.46	4.66	12~13	19~23	第8図	
184	佐々上山地区I家住宅板倉	佐々山1丁目	板倉	不明		8.19	3.77	11~12	18~19	第10図	
185	笠神地区I家住宅板倉	笠神1丁目	板倉	明治元年		5.06	2.87	13	26~38	第8図	
186	笠神地区I家住宅板倉	笠神1丁目	板倉	昭和17年		4.8	3.45	13.5	20.5~22	第8図	
187	笠神地区I家住宅土蔵	笠神1丁目	土蔵	不明		5.05	4.08	—	—	第8図	
188	笠神地区I家住宅土蔵	笠神1丁目	土蔵	昭和18年		5.46	4.89	—	—	第8図	
189	笠神地区I家住宅板倉	笠神1丁目	板倉	昭和17年		5.6	3.76	14	18	第8図	
190	笠神地区W家住宅板倉	笠神1丁目	板倉	大正		5.59	3.76	12	24.5	第8図	
191	中央地区T家住宅板倉	中央1丁目	板倉	不明		6.41	4.75	13~15	22~25	第3図	
192	高橋地区S家住宅板倉	高橋2丁目	石倉	不明				—	—	第7図	
193	高橋地区S家住宅板倉	高橋2丁目	石倉	不明				—	—	第7図	
194	高橋地区S家住宅板倉	高橋1丁目	石倉	不明				—	—	第7図	
195	南宮地区S家住宅板倉	南宮字町	石倉	昭和		—	—	—	—	第4図	

第2章 遺構の解説

1.板倉の解説、2.土蔵の解説、3.石倉の解説

1 板倉の解説

(1) 市川地区 S 家住宅板倉 (台帳No.119)

所在：市川字立石（位置図：第5図）

S 家住宅板倉 (台帳No.119) は、桁行 5.4 m、梁行 3.6 m、1 階床面積 19.44m² で 5.9 坪程度である。江戸時代の天保 6 年 (1836) 初夏に、当時の市川村大工棟梁であった齋三郎氏により建築されたもので、正確に建設年の判明している倉の中では最も古い。もともと家主は現住所から 500 m ほど離れた作貫という土地に住んでいたが、昭和 49 年 (1974) に移転する際、倉も移築された。柱は 140mm 角の柱と半柱を交互に 310mm 間隔で配置している。室内は、1 階と 2 階共に板張りで、米や糀などを貯蔵していた。

入口が平入、和小屋を基本とした小屋組で基礎の形式は不明である。

S 家は都市公園認可区域であったため移転したが、板倉は都市公園の施設として活用されることとなった。



写真 正面



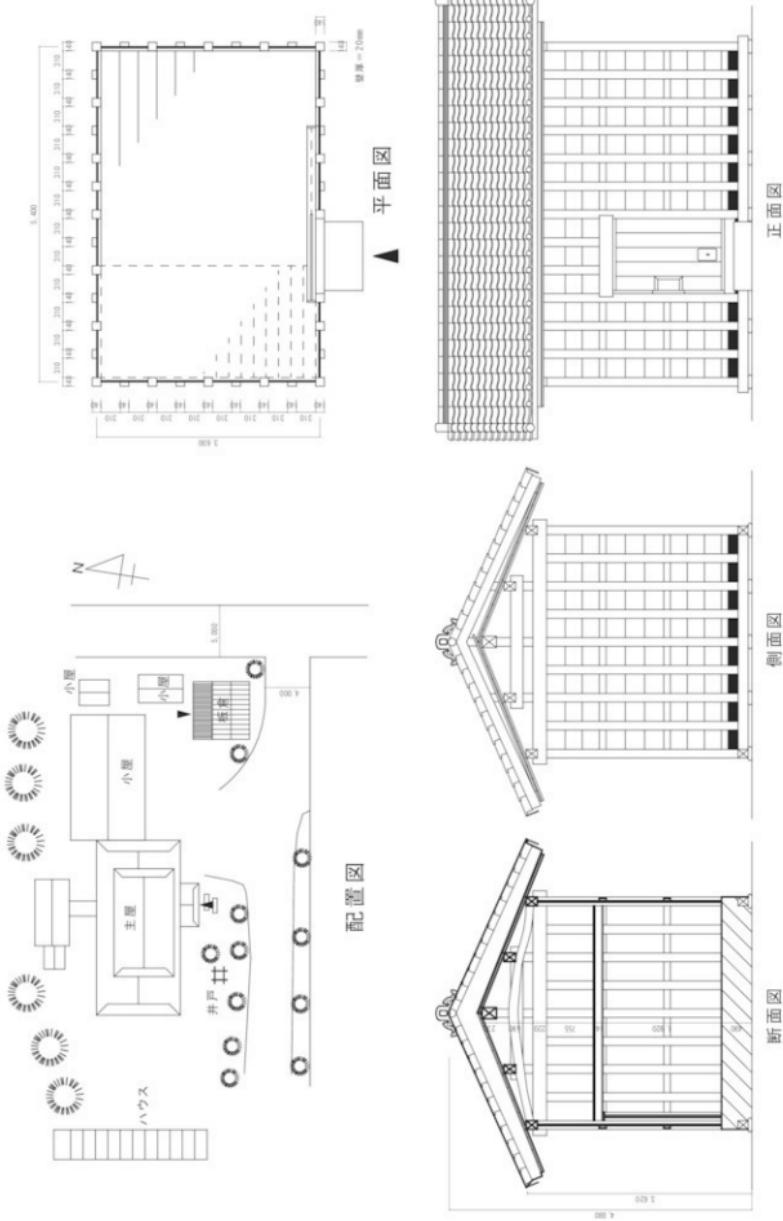
写真 側面



写真 内部の小屋組



写真 倉内部の墨書



第11図 市川地区S家住宅板倉（台帳No.119）平面図・断面図・正面図・側面図

(2) 新田地区 E 家住宅板倉 (台帳No. 129)

所在：新田字南閑合（位置図：第6図）

桁行 5.49m、梁行 3.66m、床面積 20.09m²の板倉。

建立年代は江戸時代安政 5 年 (1858) と記録が残っていて歴史の深い板倉である。また平成 3 年頃に西側に位置していたものを現在の南側の配置に移築されている、年代不明であるが瓦の葺き替えも行われている。

入口は平入、小屋組み形式は和小屋組・合掌組で基礎形式は布基礎となっている。屋根形式は切妻屋根で二重屋根であり、当初は木羽葺きであったが現在は瓦葺き屋根となっている。また、壁厚は 32mm と非常に厚く、複数枚の壁板を用いた手法である可能性が高い。

東日本大震災による被害や津波浸水は受けていない。また、解体の予定は無い。



写真 正面



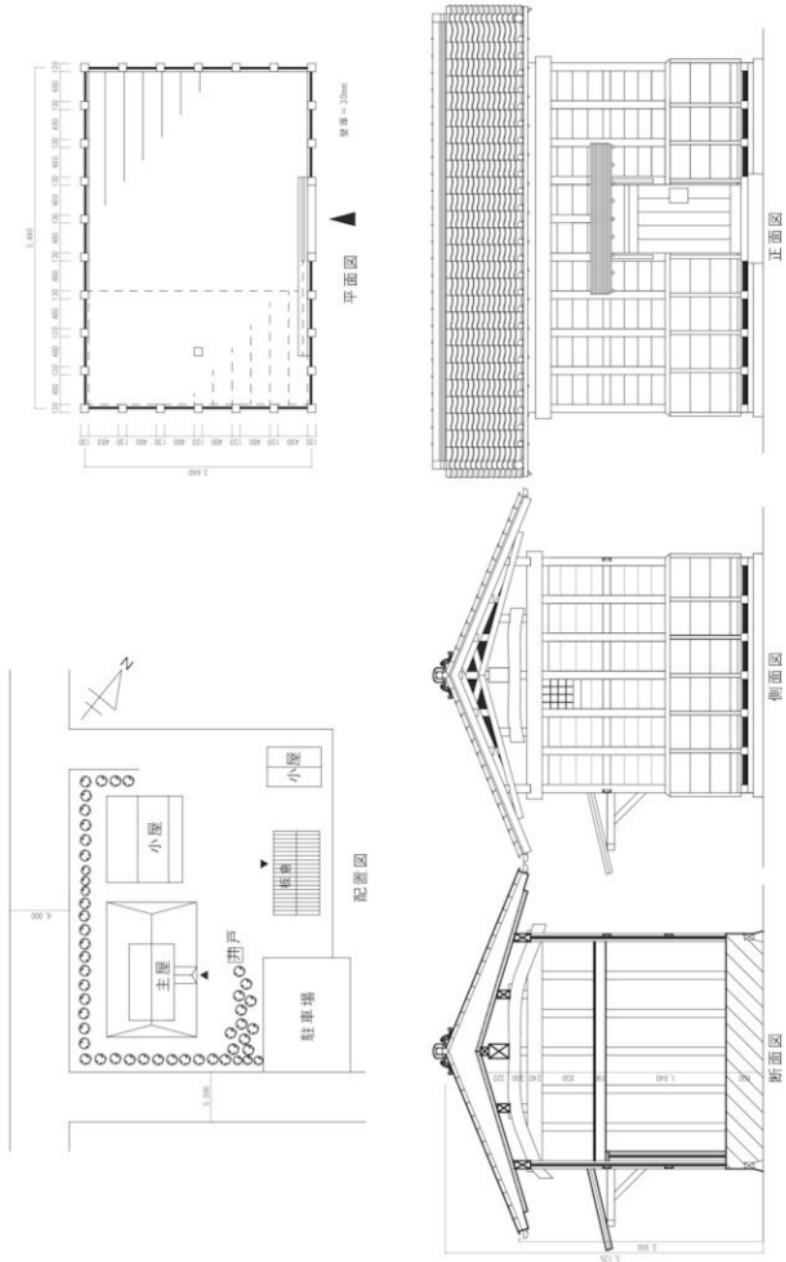
写真 側面



写真 内部



写真 墨書



(3) 市川地区K家住宅板倉（台帳No.098）

所在：市川字坂下（位置図：第5図）

K家住宅板倉は敷地の西側にあり、主屋と向かい合って近い位置に建っており、周辺の植栽が多い。桁行 4.65m、梁行 3.16m の床面積 14.69m²で、調査した遺構の中でも比較的小規模なものであった。建立年代は江戸時代文久3年(1863)4月と記録が残っており、平成20年に瓦葺き替えの改築がなされている。移築が確認されていない遺構の中では最も古い。また墨書きも見つかっている。

入口は平入、小屋組み形式は和小屋組と合掌組、基礎形式は玉石基礎。建設年は古いながらも、地震の被害は全くと言っていいほど受けていなかった。



写真 正面



写真 側面



写真 内部

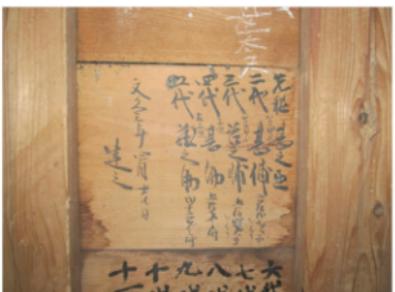
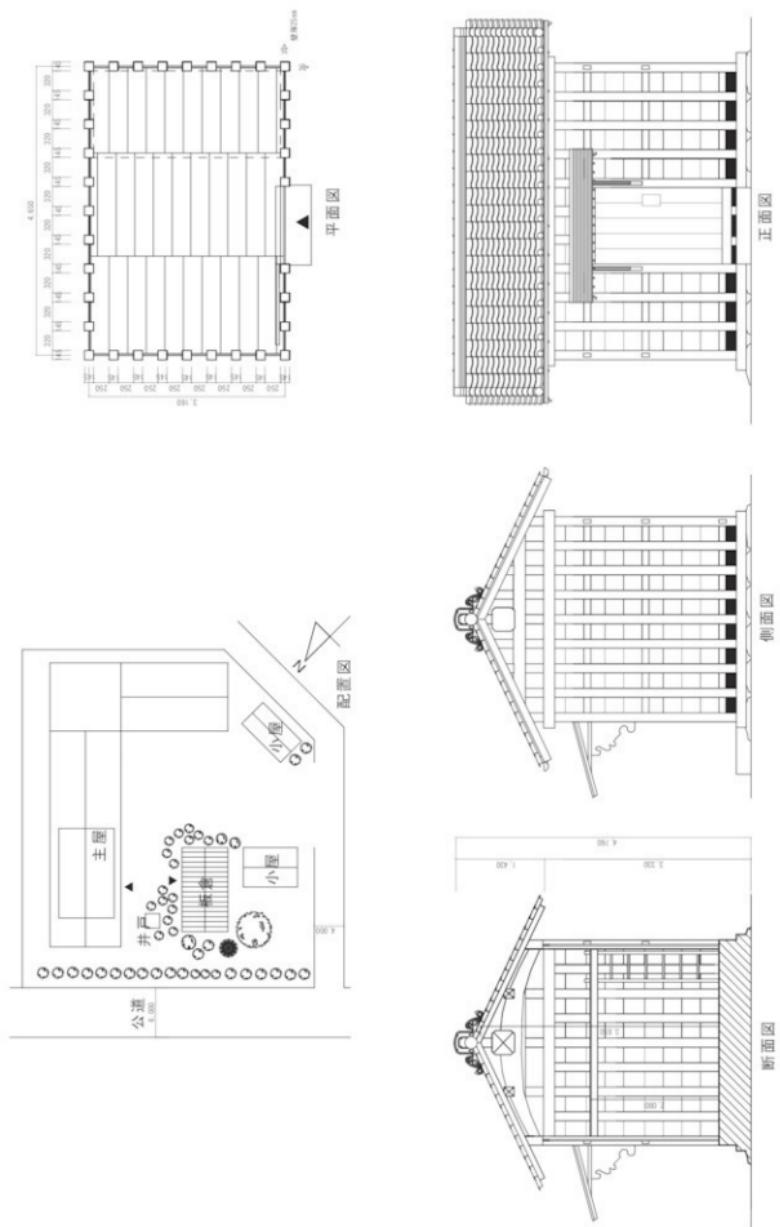


写真 建物内部壁面の墨書き



第13図 市川地区K家住宅板倉（台帳No.098）平面図・断面図・正面図・側面図

(4) 市川地区K家住宅板倉（台帳No. 123）

所在：市川字金堀（位置図：第5図）

K家はJR国府多賀城駅から北西方向に位置する、市川地区にある。周辺は住宅が少なく、付近の道路も交通量が少ない為静けさがある。

この板倉の建立年代は安政6年（1859）とされており、補強されている部分はみられるものの、倉自体に大きな破損はみられなかった。破風板には金属板を使用していた。K家の敷地は広く、主屋や板倉の周りはL字型の畠に囲まれている。入口が北側にあり、敷地北西側に主屋、主屋の隣に少し離れて板倉が位置している。また、板倉は大小2つの倉庫に挟まれており、以上の他に車庫、納屋、ビニールハウス、井戸（2つ）がある。板倉と隣り合った倉庫は左右ともに増設したような形で一体化しており隙間は無いが、内部での繋がりはみられない。

板倉の主な用途は、壁に書かれていた文字によると、小豆や大豆を保管していたと思われるが、現在では1階、中2階とも畠仕事の道具等が置かれる物置として使われていた。

規模は、桁行4.54m、梁行3.02mであり、形は長方形、中二階はあり、床は板張りとなっている。床面積は13.71m²、最高高さ4.97m、壁厚が15mmと比較的薄く、板壁の枚数は1枚だった。柱の本数は20本、半柱が16本あり、それぞれが交互に入れられてあるのではなく、北側壁面の2カ所のみ、半柱が入る個所に柱が入っている。柱幅は桁行、梁間ともに125mm前後となっており、柱間隔は桁行が330mm前後であるのに対し、梁間は250mm前後だった。貫は3本、合決りは有りだった。

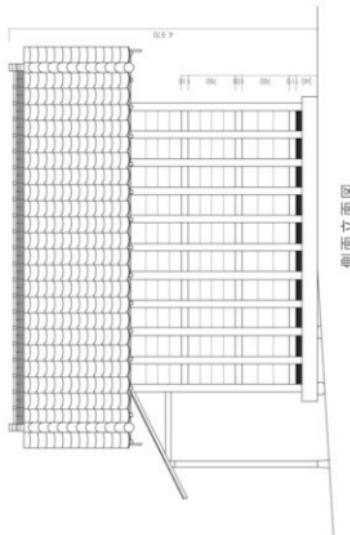
基礎は玉石を使用しており、GLから床面までの高さは550mmあるため、東側にある入口前には118mmと268mmの高さの石段が2列並べて設置されていた。入口は倉の中心より右側にあり、戸は木製の引戸で引き手部分は金属で装飾されていた。また、戸の左側の柱には鍵穴が付いており、仕組みについても教えて頂いた。周りには大きく広がった庇と鼠返しがあった。屋根形式は切妻造の二重屋根であり、屋根の仕上げは瓦葺き、庇の仕上げはトタンとなっていた。鬼瓦は正面と裏面の両面に設けられており、種類は「覆輪角張鬼瓦」と思われる。



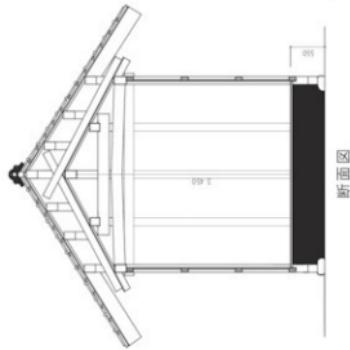
写真 正面



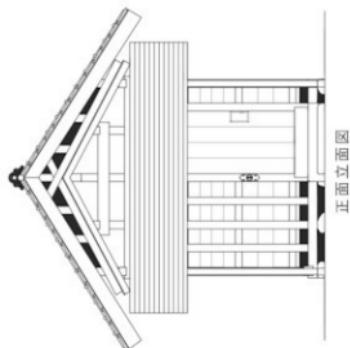
写真 壁に記された墨書



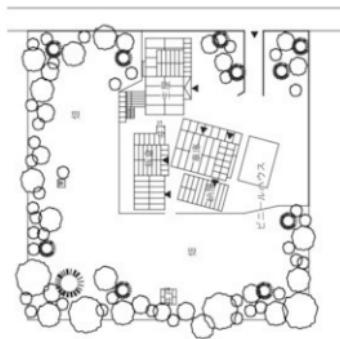
侧面立面图



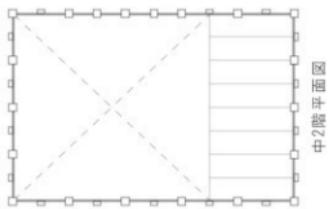
断面图



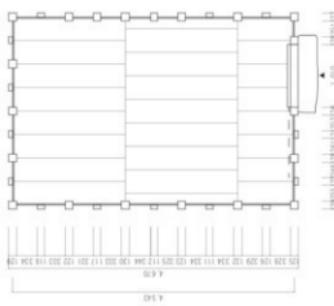
正面立面图



配置图



中2階平面图



1階平面图

第14图 市川地区K家住宅板倉（台帳No.123）平面图・断面图・正面图・侧面图

(5) 山王地区 A家住宅板倉（台帳No. 076）

所在：山王字東町浦（位置図：第4図）

この倉は、敷地の西の中央に位置し、両妻側の軒下に垂れ下がっているギザギザな板の壁が特徴的である。規模は桁行 5.13m、梁行 3.42m、面積 17.5m²。江戸時代の文久 4 年(1864)に建築され、当時は、現住所から東に直線距離で 1.5km 離れている留ヶ谷にあったが、昭和 21 年(1946)に現在の住所へ移築された。室内は、1 階と 2 階共に板張りで、1 階は米を貯蔵し、2 階は農具を貯蔵していた。また、向かって、左側の屋根と柱の吹きさらしの空間は、増築された部分で時期は不明だが、馬車を収納するスペースだった。

入口は平入、小屋組は和小屋組と合掌組の複合、基礎に関しては不明だった。また、入口の木製戸には古い施錠があった。柱の間隔は 16mm とかなり狭い。



写真 正面



写真 側面の日除け



写真 建物内部の墨書



写真 戸の様子